



自然冷媒 (CO<sub>2</sub>)・ヒートポンプ給湯機 [家庭用]  
**ダイキンエコキュート**



以下はダイキンのホームページからの抜粋です。

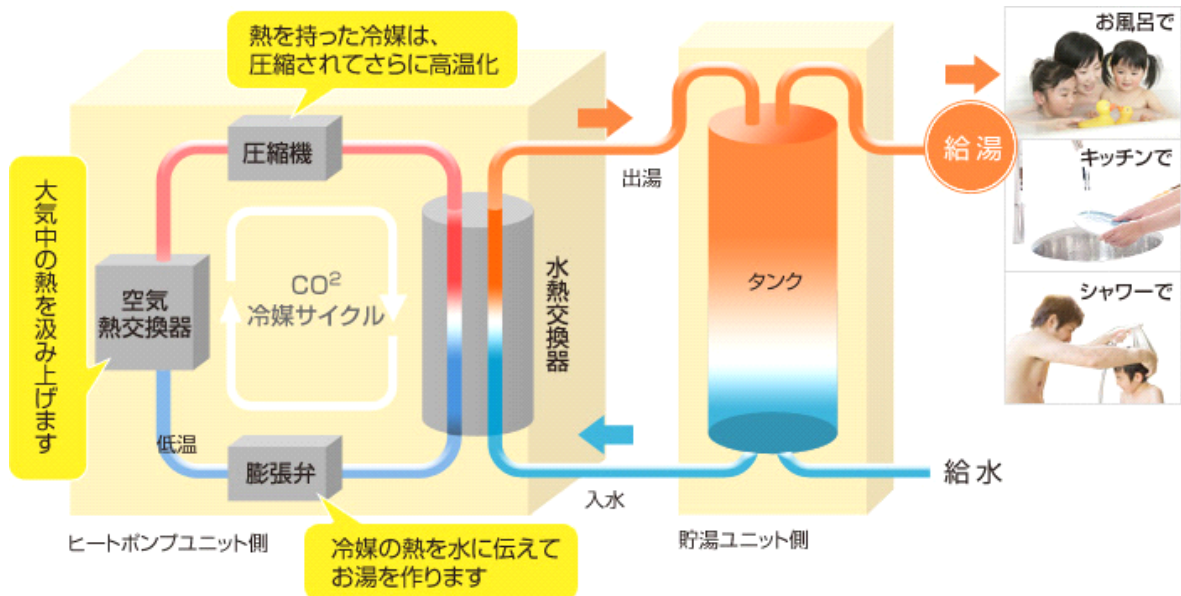
ヒートポンプ技術を利用し、大気中の熱でお湯を沸かす、地球にやさしい給湯機です。

目には見えない大気中の熱エネルギーをヒートポンプユニットに取り込み、「自然冷媒 (CO<sub>2</sub>)」で圧縮することで高温化し、その熱を水に伝えてお湯を作る、自然エネルギーを利用した地球にやさしい給湯機です。

作られたお湯はご家庭のキッチンやお風呂など、各シーンで大活躍します。

1の電気エネルギーを使って、3以上の熱エネルギーを取り出します。

ヒートポンプ給湯機では、大気中の熱を汲み上げるために電気のエネルギーを使います。汲み上げた熱をヒートポンプユニット内で圧縮してさらに高温化し、貯湯タンクからの水を水熱交換器で温めてお湯を沸かします。



ヒートポンプでは、「1」の電気エネルギーを使って、「3」以上の熱エネルギーを取り出すことができるため、とても効率的。

CO<sub>2</sub>の排出量を抑え、環境に配慮した給湯機です。

## 電気料金について

# エコキュートにすると、 どうして電気代が節約できるの？



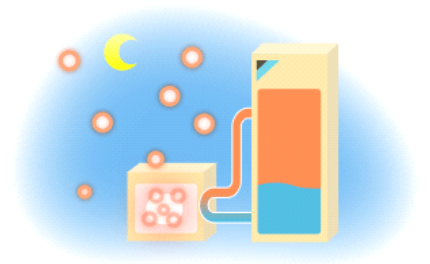
空気の熱で効率よくお湯を沸かし、深夜電力も利用でさらに光熱費がおトク。

まずエコキュートは、空気の熱で効率よくお湯を沸かすので、必要なエネルギー(電気)が少なく済む、ヒートポンプ給湯機であること。

効率的なヒートポンプ技術に加え、電力契約プランに応じ、電気代が割安な深夜電力の利用でさらにおトク。

電力会社ごとに、おトクな割引料金プランも用意されています。

※契約の詳細につきましては電力会社にお問い合わせください。



## 東北電力の場合

時間帯によって電気代が安くなる「やりくりナイト8」が利用できます。

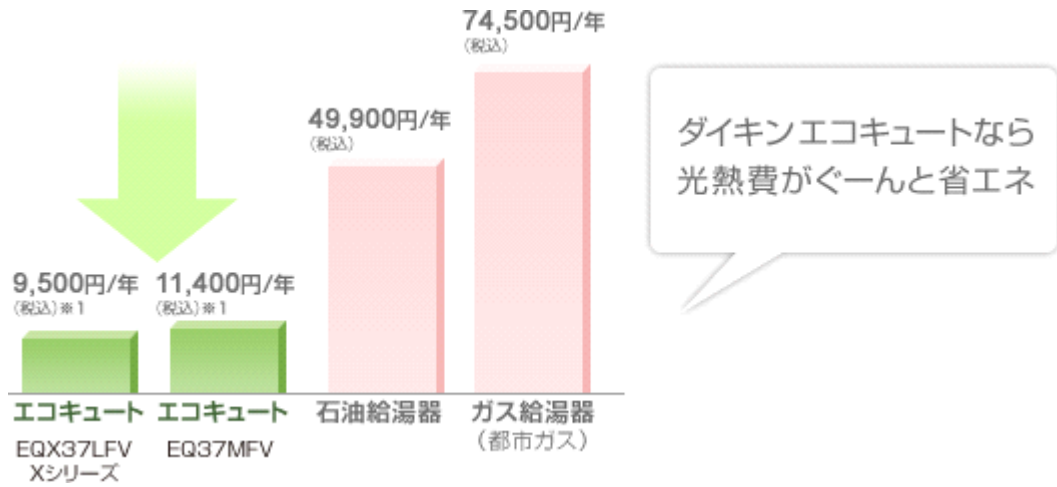
### 「やりくりナイト8」(時間帯別 電灯契約)



やりくりナイト(時間帯別電灯)は、昼間時間帯の電気料金は少々割高ですが、夜間時間帯の電気料金が割安に利用できるおトクな料金メニューです。とくに、電気温水器や蓄熱式電気暖房器など夜間蓄熱型機器を使うオール電化住宅にお住まいの方におススメです。

●契約の詳細につきましては電力会社にお問い合わせください。 ●表示の金額は消費税相当額を含めた単価です。

## 年間給湯光熱費比較



### 試算条件(当社試算)

給湯基準負荷	給湯基準負荷は JRA4050 : 2007R の標準給湯モードを採用
エコキュート	JRA4050 : 2007R に基づいて算出された年間給湯効率より当社が試算。370Lフルオートタイプ角型 : EQX37LFV (X シリーズ) 、EQ37MFV で試算。電気料金 : 東北電力の時間帯別電灯契約「やりくりナイト8」(契約容量 10 kVA) で試算。電気基本料金に占める給湯の割合 : 1/10。通電制御型夜間蓄熱型機器割引 2kVA。(燃料費調整額除く)
ガス給湯器	24号タイプで試算。機器効率 : 78%、配管ロス : 5% ガス料金 : 東京ガスで試算。ガス基本料金に占める給湯の割合 : 4/5。(原料費調整額除く)
石油給湯器	フルオート 45.3kWタイプで試算。機器効率 : 80%、配管ロス : 5% 灯油料金 : 財団法人日本エネルギー経済研究所石油情報センターの 2009年6月データによる

- 風呂保温、追いだし運転を行うと夜間時間帯以外でもヒートポンプ運転を行うことがあります。夜間時間帯以外でヒートポンプ運転を行った場合、上記試算金額より高くなる事があります。電気料金は 2009年6月現在の約款、ガス料金は 2008年11月現在の約款を使用しております。
- ※1 当社試算時より多くのお湯を使用した場合や、沸き上げ湯量の設定、給水温度、外気温度によって光熱費は変わります。冬場の光熱費は夏場より高くなります。
- ※お客様のご使用状況やお住まいの電力エリア、供給ガス種別により削減幅は異なります

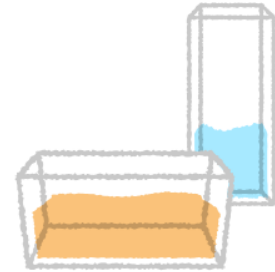
## 上手な 使い方

# エコキュートを、より省エネで経済的に 使うためのポイントは？



### 上手にお湯を沸かして使う

ご家庭の使用状況にあわせて、必要な量だけお湯を沸かし、  
上手に使い切ることが省エネ・省コストポイントです。



### Point.1 「湯量設定」のおまかせ（省エネ）モード<sup>※1</sup>で、必要量だけ沸 き上げて、経済的に使う。

1週間分のお湯の使用状況を学習する。

おまかせ（省エネ）モードで、自動で必要湯量をムダなく沸き上げるから、  
最適な省エネ運転を行います。

※お湯が足りなくなりそうな時には、『沸き増し』を押して必要な湯量を確保してください。

※1 おまかせ（省エネ）モードで頻繁にお湯が足りなくなる場合には、  
『湯量設定』を変更してください。



### Point.2 「エコ停止」で自動沸き増し量を極力減らして使う。

早めにお風呂をすませたときなど、  
これ以上自動沸き増しをしなくても、お湯の量が間に合う場合は、  
『エコ停止』で沸き上げを停止させてください。



### Point.3 「停止日数」を活用する。

旅行などで不在となる時には、  
メニュー内の『停止日数』の設定をしてください。

### 上手に付加機能を使う

エコキュートには多くの付加機能があります。  
上手に使うことが省エネ・省コストのポイントです。



## Point.4 「高温たし湯」機能を使って、より省エネで経済的に。

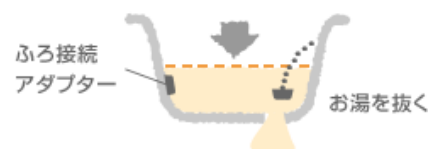
お風呂をあたため直す時には、保温運転や『追いだき』よりも、『高温たし湯』の方が省エネで経済的です。  
(浴室リモコン)メニュー内の『保温時間』を0:00にして、『高温たし湯』を使用してください。



前日の残り湯を沸かし直すときは

残り湯を減らしてから『ふろ自動』を押す。  
減らす湯量は、ふろ接続アダプター(循環口)が水面に出ないくらいがめやすです。

①残り湯を減らす



残り湯をそのまま沸かし直すと、昼間の運転が多くなり、電気代が高くなる場合があります。  
前日の残り湯を沸かしなおすときは残り湯を減らすと経済的です。

②「ふろ自動」を押す



## Point.5 リモコンの「表示モード」で切に設定し、待機時の消費電力を減らす。

リモコンの表示は、メニュー内の『表示モード』で切に設定し、待機時の消費電力を減らします。



エコキュートに太陽光発電をプラスすれば、電気代が黒字に転換する可能性も！  
当社でオール電化工事をさせていただき、実際に電気代が黒字に転換したお客様の体験談が掲載されています。

体験談は[コチラ](#)

環境にもお財布にも優しい設備です。